

## 主な対応経過

※ 「〇時」表記は詳細時刻が不明のもの  
 ※ その他時刻表示のないものは順不同

日時	県の対応	国、市町村、他県等の対応
平成 12 年 10 月 6 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 13:30 地震発生</li> <li>・ 13:30 県災害対策本部自動設置 (震度5強以上)</li> <li>・ 13:40 県警察本部特別災害警備本部及び各警察署現地災害警備本部設置</li> <li>・ 13:45 県災害対策本部員参集始まる</li> <li>・ 13:50 消防防災ヘリコプターによる被災地調査を指示</li> <li>・ 13:55 「本部員の集合」を庁内放送</li> <li>・ 14:00 西部災害対策本部では、総務部長、財政課長、広報課長、総務課、市町村振興課等西部にいた職員が西部対策本部へ参集し、活動開始。また、西伯町へ3名、溝口町へ1名の職員を派遣</li> <li>・ 14:01 消防防災ヘリコプター離陸</li> <li>・ 14:09 知事が本部室に到着、被害状況報告を受ける</li> <li>・ 14:29 知事が陸上自衛隊第八普通科連隊へ災害派遣要請 (電話)</li> <li>・ 14:35 知事から鈴木正明消防庁長官へ電話</li> <li>・ 知事から西部市町村長 (又は助役) へ状況確認、支援等の電話 (米子市、境港市、西伯町、会見町、岸本町、日南町、日野町、江府町、溝口町)</li> <li>・ 弁当手配 (7 日分 5,778 食)</li> <li>・ 毛布の提供 (2,800 枚)</li> <li>・ 救援物資の提供 (簡易トイレ 71 台、トイレトーパー 800 個、カイロ 1,000 個、プロパンガスボンベ 10 本、調整器 3 台、石油ストーブ 25 台、灯油 200 リットル、水用ポリタンク 290 個)</li> <li>・ 22:35 災害救助法を適用 (米子市、西伯町、日野町)</li> <li>・ その後、翌 1 時 30 分頃まで各市町村からの緊急要望を受け、即対応を指示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 14:15 自衛隊鳥取地方連絡部坂田部長が県本部へ急行</li> <li>・ 中川官房長官から激励の電話連絡</li> <li>・ 兵庫県 (防災企画課長) から状況照会の電話</li> <li>・ 14:43 森総理大臣から知事に支援の電話「できることがあれば、行う。」</li> <li>・ 15:05 境海上保安部から「船舶被害はなし」との連絡</li> <li>・ 西田自治大臣から激励の電話連絡</li> <li>・ 陸上自衛隊第13旅団石田尾幕僚長が本部へ急行</li> <li>・ 西田鳥取大学教授が本部へ急行、地震について説明</li> <li>・ 広島県 (福祉保健部)、岡山県 (保健福祉部) から支援の申し出</li> <li>・ 16:00 鳥取県社会福祉協議会が「鳥取県西部地震対策本部」を設置</li> <li>・ 16:35 自衛隊第8普通科連隊連絡幹部が県本部に到着</li> <li>・ 18 時 連美国土庁総括政務次官が東京より急行、ヘリコプターで上空より被災地を視察後、20:30 に検査以外対策本部で政府の全面協力を表明</li> <li>・ 平林郵政大臣が県本部を激励</li> <li>・ 19:00 日野町で避難勧告 (根雨1区・2区、23世帯 37 名)</li> <li>・ 20:05 自衛隊第13旅団幕僚長等が県本部に到着</li> <li>・ 中国管区広域緊急援助隊等の派遣 (10/6 ~ 15 延べ 417 名)</li> </ul>
7 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部長が連美国土庁政務次官とともに被害状況視察 (境港市)</li> <li>・ 本部長が扇国土庁長官ほかの政府調査団に概況報告 (米子空港)</li> <li>・ 本部長が被災状況調査のため、消防防災ヘリコプターで米子空港から日野町へ移動、その後日野町、西伯町を視察</li> <li>・ 政府調査団記者会見に同席 (米子空港)</li> <li>・ 16:30 本部長は県災害対策本部に戻り、現地の被害状況を本部員に伝達し対策を協議、指示。「被害は大きく、余震が怖くて眠れないなどメンタル面の対応も必要。扇国土庁長官は災害復旧に最大限努力すると言明。今後の支援要請にもしっかり対応すること。」</li> <li>・ 自衛隊災害派遣要請 (境港市竹内団地の排水溝土砂撤去、西伯町・会見町及び日野町における損壊独居老人宅等への防雨用シートの展張)</li> <li>・ とりネットに地震被害情報等の掲載を開始</li> <li>・ 日野町へ医薬品セット (1,000 人分) を提供</li> <li>・ 毛布の提供 (1,030 枚)</li> <li>・ 救援物資の提供 (ブルーシート 6,500 枚 (兵庫県からの 500 枚を含む)、トイレトーパー 500 個、水用ポリタンク 1,062 個)</li> <li>・ 弁当手配 (8 日分 10,600 食)</li> <li>・ 21:00 災害救助法を適用 (溝口町)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:10 第13旅団司令部及び第13通信中隊が県災害対策本部待機を解除</li> <li>・ 扇国土庁長官ほか政府調査団が被災地視察</li> <li>・ 政府調査団記者会見 (県本部長同席)</li> <li>・ 水産庁海岸防災課長による境漁港被害調査</li> <li>・ 給水車による応急給水とそれに伴う職員を派遣 (自衛隊、他県 (岡山県、山口県、広島県、島根県))</li> <li>・ 兵庫県 (斉藤防災監) から前例等の資料提供の申し出電話</li> <li>・ 米子市社会福祉協議会等が「米子市災害ボランティアセンター」を設置</li> <li>・ 給水車による応急給水及びそれに伴う職員を派遣 (鳥取市等)</li> <li>・ 15:30 溝口町で避難勧告 (大坂地区、2 世帯 10 名)</li> <li>・ 避難住民の困りごと、不安の解消等を目的に、中国管区内各県警察の女性警察官で編成された「コスモス隊」を派遣 (10/7 ~ 20 延べ 246 名)</li> </ul>
8 日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8:20 本部会議開催。「境港の仕事が多いため、人員を確保し直ちに派遣すること。激甚災の状況を把握すること。被災者生活再建支援が良い。災害救助法が適用されなくても必要な支援は行うこと。」</li> <li>・ 本部長が被害状況視察 (西伯町、日南町、溝口町、会見町)</li> <li>・ 18:30 本部長は県災害対策本部に戻り指示「日南町、江府町の震度が発表されないことからボランティアの偏りがあるため、取材、報道をお願いする。当面必要な経費は予備費を超えるが自分の責任で専決を行う。」</li> <li>・ 防災無線による地震便乗悪質商法への注意呼びかけについて西部地区全市町村に文書要請</li> <li>・ 地震便乗悪質商法に関する相談、問い合わせ窓口を消費生活センターに開設 (10 日から「消費生活 110 番」として本格運用)</li> <li>・ 毛布の提供 (120 枚)</li> <li>・ 救援物資の提供 (ブルーシート 1,250 枚、ダンボール箱 1,500 個、ロープ 25 束、ガムテープ 150 本、荷造りひも 142 束、ポリタンク 1,768 個)</li> <li>・ 弁当手配 (9 日分 10,268 食、10 日分 7,840 食)</li> <li>・ 仮設住宅 10 戸の建設準備開始 (日野町黒坂小学校グラウンド)</li> <li>・ 根雨高グラウンドをボランティア等の駐車場として解放 (8 ~ 9 日)</li> <li>・ 20:40 災害救助法を適用 (境港市、会見町)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9:00 橋本高知県知事から電話「できることは何でも言うてください。」</li> <li>・ 給水車による応急給水とそれに伴う職員を派遣 (自衛隊、他県 (岡山県、山口県、広島県、島根県))</li> <li>・ 9:15 日南町長から知事に電話「日南町の震度がいつも発表されない。」</li> <li>・ 日野町等が「日野町災害ボランティアセンター」を設置</li> <li>・ 11:33 溝口町で避難勧告 (父原地区、4 世帯 18 名)</li> <li>・ 給水車による応急給水及びそれに伴う職員を派遣 (鳥取市等)</li> <li>・ 21 時 余震発生を受け、西伯町で自主避難を呼びかけ</li> </ul>
9 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8:20 本部会議開催。「被災市町村に報告を求めるのではなく、支援要請に対してスピーディに対応すること。現場では言いにくい面もあるため、柔軟に心を開いて対応すること。」</li> <li>・ 本部長が被害状況視察 (江府町、岸本町、米子市)</li> <li>・ 佐藤陸上自衛隊第八普通科連隊長、安宅航空自衛隊美保基地司令、石上西部消防局長へ支援、協力のお礼と今後の協力依頼</li> <li>・ 自衛隊災害派遣要請 (西伯町及び日野町下樓での損壊した独居高齢者、身体障害者宅への防雨用シートの展張)</li> <li>・ 自衛隊災害派遣要請 (西伯町での県職員による緊急調査へのヘリコプター支援)</li> <li>・ 自衛隊災害派遣要請 (溝口町での損壊した高齢者世帯家屋へのシートの展張)</li> <li>・ 救援物資の提供 (ブルーシート 200 枚)</li> <li>・ 19:30 本部会議開催。「本日から県との連絡調整のための職員を西伯町と日南町に派遣。住宅の危険度チェックの応援要否を照会すること。今回は総務部長等が偶然西部に居合わせ、西部の拠点となったことが良かった。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10:30 頃 平林郵政大臣から知事へ電話</li> <li>・ 被災者生活再建支援法適用 (境港市)</li> <li>・ 給水車による応急給水とそれに伴う職員を派遣 (自衛隊、中国地方建設局)</li> <li>・ 給水車による応急給水及びそれに伴う職員を派遣 (鳥取市)</li> </ul>

日時	県の対応	国、市町村、他県等の対応
10日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>8:20 本部長は終日対策本部で指揮</li> <li>早急に対応する必要があるものについて、知事専決処分により鳥取県西部地震対策補正予算(50億円)を編成</li> <li>鳥取県西部地震に対する緊急要望(浜崎芳宏県議会議員、山口享県議会議員、鉄永幸紀県議会議員、広田喜代治県議会議員)</li> <li>鳥取県西部地震に対する申し入れ(米井悟県議会議員、長谷川稔県議会議員)</li> <li>救援物資の提供(ブルーシート400枚)</li> <li>弁当手配(12日分 4,290食)</li> <li>避難所での食品や飲料水の衛生対策を現地指導</li> <li>自衛隊が設置した仮設入浴施設に対し伝染病予防対策を現地指導</li> <li>弁当業者に対して被災者救援用弁当に係る食品衛生対策を指導</li> <li>日野町に仮設住宅24戸の建設を決定(黒坂12戸、下榎8戸、野田4戸)</li> <li>午後「鳥取県西部地震被災者等貸付金制度案内窓口」を設置(経営流通課、西部県民局、米子市、境港市、西伯商工会、日野商工会)</li> <li>19:30 本部長は終日対策本部で指揮</li> <li>復興状況を情報発信することも必要。被災者支援のチラシ作成。商工労働部の現地調査結果の報告、企業の内部は外見より相当被害がひどい。復興や立ち直ってきている情報も発信すること。(皆生、米子空港など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮内庁渡辺侍従長を通じ、天皇后両陛下から被災者へのお見舞いと災害復旧関係者へのねぎらいの言葉が届く</li> <li>10:30 平林郵政大臣から知事へ電話</li> <li>常田郵政事務次官が激励のため県災害対策本部へ</li> <li>被災者生活再建支援法適用(米子市、日野町)</li> <li>13:00 日野町で避難勧告(本郷地区、10世帯40名・7事業所)</li> <li>「鳥取県西部地震災害義援金」の募集開始(鳥取県共同募金会、日赤鳥取県支部、NHK鳥取放送局・米子放送局、鳥取県)</li> </ul>
11日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>8:20 本部長は終日対策本部で指揮</li> <li>15:05 本部長は終日対策本部で指揮</li> <li>「市町村に対する被災者支援対策説明会が必要」</li> <li>災害救助法等市町村担当課長会議を開催(会場：西部健康福祉センター)</li> <li>地震便乗悪質商法の被害防止及び消費生活110番の開設案内チラシを被災市町村役場等へ巡回配布、防災無線等による住民への注意喚起を再度依頼</li> <li>報道各社に対し資料提供「県内の主要観光施設、旅館・ホテルとも通常どおりに営業している。」</li> <li>弁当手配(13日分 3,870食)</li> <li>救援物資の提供(ロープ5束)</li> <li>18:00 本部長は終日対策本部で指揮</li> <li>「緊急要望の内容検討。県内でのイベント開催に後ろ向きにならないこと。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8:00 溝口町で避難勧告解除(父原地区、1世帯8名)</li> <li>13:00 西田鳥取大学教授から鳥取県西部地震の発生メカニズム、余震等について県本部に説明</li> <li>午後 兵庫県教委からの派遣職員が会見町、西伯町の各学校を訪問しアドバイスを実施</li> </ul>
12日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>8:45 本部長は終日対策本部で指揮</li> <li>「災害査定、技術者派遣等は被災市町村間のバランスをよく取ること。キャラバン隊での検討事項は瞬時に解決すること。」本部長は終日対策本部で指揮</li> <li>鳥取県西部地震に対する申し入れ(松本芳彬県議会議員)</li> <li>「り災証明書」の様式取りまとめ、市町村配付</li> <li>自衛隊災害派遣要請(米子市での損壊した独居高齢者宅等への防雨用シートの展張)</li> <li>災害支援制度説明キャラバン隊(藤井喜臣西部県民局長ほか)による説明(米子市、境港市、西伯町)</li> <li>風評被害対策として新聞広告、大阪地下鉄車内吊(10月末～11月初に掲出)</li> <li>県政テレビ「週刊!とりぼーと」撮影(13日朝放映)</li> <li>救援物資の提供(電気ポット20個、給水ポット20個、高齢者用下着200組、洋式便座5個、防水合羽15個)</li> <li>弁当手配(14日分 3,740食)</li> <li>日野町黒坂に仮設住宅8戸の建築を開始</li> <li>日野町役場、江府町役場、溝口町中央公民館にそれぞれ1名の職員を派遣し、「住宅相談窓口」を開設</li> <li>「鳥取県西部地震対策特別資金」を創設(融資枠30億円)</li> <li>18:55 本部長は終日対策本部で指揮</li> <li>「特に在宅高齢者のケアは大丈夫かどうかと職員の長期派遣の必要性について市町村に照会すること。応急危険度判定の赤紙にいかなるアドバイスができるか検討すること。り災証明書発行マニュアルの検討。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土井堅郎岡山県瀬戸町長が災害見舞いのため県本部来訪</li> <li>13:10 佐藤正陸上自衛隊第8普通科連隊長が県本部来訪</li> <li>13:25 兵庫県、神戸市の専門職員が県本部へ助言来訪</li> <li>給水車による応急給水とそれに伴う職員を派遣(自衛隊、鳥取市ほか)</li> <li>農林水産省森林総合研究所地すべり研究室長らが林地崩壊現場を調査</li> <li>被災者生活再建支援法適用(鳥取県全域)</li> <li>14:10 米子市で避難勧告(宗像地区、1世帯3名)</li> <li>15:46 米子市で避難勧告(宗像地区、2世帯5名)</li> </ul>
13日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>8:40 本部長は終日対策本部で指揮</li> <li>「り災証明書発行マニュアルを本日の説明会で配布し、応急危険度判定の赤紙の意味が高齢者でも理解できるようにマニュアルを作成すること。」本部長は、終日対策本部で指揮</li> <li>本部長と渡辺邦彦京都大学防災研究所地震予知センター助教授が意見交換</li> <li>13:00 知事記者会見「死者がなかったことは不幸中の幸い。1週間が経過し、当面の応急対策は進んだが、今後市町村と連携し復興、生活再建に臨む。復興の方が仕事量が多いが県職員の長期派遣などで支援する。公約の防災組織の強化、防災訓練が役立った。激甚災の適用を受けたい。被災者生活再建支援法は支援がアンバランス。」</li> <li>新聞広告(支援制度紹介)(18日掲載)</li> <li>災害支援制度説明キャラバン隊(藤井喜臣西部県民局長ほか)による説明(会見町、溝口町、日野町)</li> <li>全半壊世帯への見舞金(20千円)の支給を決定(専決予算対応)</li> <li>救援物資の提供(スコップ100丁、ほうき100本、ちりとり100個)</li> <li>弁当手配(15日分 3,335食)</li> <li>20:00 NHK番組「特集 鳥取県西部地震」に生出演</li> <li>21:25 本部長は終日対策本部で指揮</li> <li>「応急危険度判定について、個別のコンサルティングを行う必要がある。西部県民局長から西部本部の概要説明。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛藤文一郎日本消防協会常務理事が県本部来訪</li> <li>18:30 谷洋一農林水産大臣が県対策本部を来訪(被害状況説明及び要望)</li> <li>農林水産省森林総合研究所地すべり研究室長らが県職員とともに日野町本郷地区の現地調査、消防防災ヘリコプターにより米子、日野方面の林地崩壊を上空から調査</li> <li>山崎登NHK解説委員が県本部来訪</li> <li>16:50 日野町で避難勧告解除(根羽1区・2区、23世帯37名)</li> <li>16:52 日野町で避難勧告(本郷地区、10世帯40名・7事業所)</li> </ul>
14日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本部長は終日対策本部で指揮</li> <li>「復旧の足取りが町村によって異なるので、県の対応もきめ細かく行う必要がある。種々の判断は受ける人の感情もあることを踏まえておくこと。裏山の崩落が戸数等で急傾斜地制度の対象外となる場合の救済を検討すること。こういう時こそ現場に出ることが大切。」</li> <li>救援物資の提供(ゴム手袋500組)</li> <li>夜間の県災害対策本部の配備体制を縮小</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物再資源対策課長が関係市町村を巡回し、災害廃棄物処理事業の説明</li> </ul>

日時	県の対応	国、市町村、他県等の対応
15日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本部長、谷農林水産大臣、相沢金融再生委員長、石破農林水産省総括政務次官とともに被災地視察</li> <li>本部長、谷農林水産大臣とともに被災市町村の要望聞き取り(県西部対策本部)</li> <li>本部長、鳥取県西部地震に対する要望のため米子空港から上京</li> <li>救援物資の提供(ストロボ付きインスタントカメラ200個)</li> <li>県警察震災総合安全対策本部及び警察署地域安全対策本部(西部地区各署)を設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>谷農林水産大臣、相沢金融再生委員長、石破農林水産省総括政務次官らが被災地視察</li> <li>13:40 米子市で避難勧告(青木地区、2世帯8名)</li> </ul>
16日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回国への要望活動「鳥取県西部地震に対する国(官房長官、国土庁、厚生省)への要望活動」</li> <li>16日より県内全ての学校で授業再開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>谷農林水産大臣が被災地視察</li> </ul>
17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回国への要望活動「鳥取県西部地震に対する国(消防庁、自治省、運輸省、建設省、文部省)への要望活動」</li> <li>16:00 本部長が参議院災害対策特別委員会調査団に概要説明及び要望(出雲空港)</li> <li>18:45 知事記者会見(検討中の住宅関係施策について)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>16:00 参議院災害対策特別委員会調査団が被災地視察</li> </ul>
18日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災住宅復興支援制度の要綱策定作業に着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鈴木消防庁長官来訪、被災地視察</li> <li>17:00 溝口町で避難勧告解除(大坂地区、2世帯10名)</li> </ul>
19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>民主党鳥取県総支部連合会による要望(福岡県議会議員、伊藤県議会議員)</li> </ul>	
20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本部長、嶋津自治省財政局長とともに被災状況視察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>嶋津自治省財政局長が被災状況視察</li> </ul>
21日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>14:00 山陰放送ラジオの生番組取材</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西田鳥取大学教授が県本部来訪</li> </ul>
22日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>翌日以降の本部会議の開催方針を決定(16:30に部長、次長、課長のいずれかが本部室に集合し、情報交換、対策を協議)</li> </ul>	
23日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日野町黒坂に建設中の仮設住宅(12戸)が完成</li> </ul>	
24日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日野町黒坂の仮設住宅(24世帯)の入居募集に対して23世帯が応募</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日野町から仮設住宅の増設要望(新たに5世帯の入居希望)</li> </ul>
25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日野町に仮設住宅をさらに4戸建設することを決定</li> </ul>	
26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日野町で仮設住宅4戸の建設に着手</li> </ul>	
30日(月)~31日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回国への要望活動「鳥取県西部地震に関する緊急要望(震災復興に向けた新制度の要望)の関係省庁への要望」</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>2日 鳥取県西部地震災害復興本部設置、第1回復興本部会議開催(今後の復興対策の取組について)</li> <li>2日 11月臨時議会(災害復旧、復興予算)</li> <li>6日 「元気いっぱい!鳥取県」宣言(皆生グランドホテル天水前)</li> <li>8日 「元気いっぱい!鳥取県」キャンペーンキャラバン隊派遣(東京、大阪、神戸)</li> <li>13日 第2回復興本部会議開催(被災者向けパンフレット案等について)</li> <li>16日 第3回国への要望活動「工業用水道事業費(災害復旧)補助金の採択基準の緩和、災害廃棄物処理に対する補助制度の特例措置についての国(大蔵省、厚生省)への要望活動」</li> <li>27日 第3回復興本部会議開催(被災者向けパンフレットについて他)</li> <li>28日 国へのお礼活動(補正予算に震災復興関係が盛り込まれたことにより、知事から関係省庁に対してお礼活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月6~15日 災害復興本部設置(米子市、境港市、岸本町、日南町、日野町、江府町)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>25日 第4回復興本部会議開催(震災支援策の状況等について他)</li> </ul>	
平成13年	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月6~7日 米子震災フォーラム開催(米子コンベンションセンター)</li> <li>4月2日 第5回復興本部会議開催(災害復旧・復興支援等の状況他)</li> <li>10月1日 第6回復興本部会議開催(災害復旧・復興支援等の状況他)</li> <li>10月6日 「鳥取県西部地震」を考える鳥取県民大会開催(米子コンベンションセンター)</li> <li>10月「平成12年鳥取県西部地震の記録」発行</li> <li>10月「平成12年鳥取県西部地震震災体験記録」発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月6日 西伯町災害復興本部設置</li> </ul>
平成14年	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月28日 「鳥取県西部地震」2周年県民大会開催(米子コンベンションセンター)</li> <li>12月10日 仮設住宅の撤去完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月31日 西伯町災害復興本部廃止</li> </ul>
平成15年	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月5日 県道菅沢日野線の復旧工事完了をもって全ての災害復旧事業が完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月31日 境港市、日南町災害復興本部廃止</li> <li>4月1日 岸本町災害復興本部廃止</li> <li>12月1日 日野町災害復興本部廃止</li> <li>12月29日 米子市災害復興本部廃止</li> </ul>
平成16年	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月1日 県西部地震災害復興本部廃止</li> </ul>	
平成17年	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月6日 鳥取県西部地震から5年フォーラム開催(日野町文化センター)</li> </ul>	
平成18年	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月6日 鳥取県西部地震展示交流センター開館(日野町山村開発センター内)</li> </ul>	